

令和8年度 境川小学校の学校経営

1 校訓

規律 勤勉 誠実

2 学校教育目標

命を大切に作る心豊かな子ども

3 目指す子ども像

- ・ (知) 自ら考え表現する子ども
- ・ (徳) 認め合い助け合う子ども
- ・ (体) 自分の力を信じがんばる子ども

4 学校教育目標を具現化するための学校像

- ・ 「生きてはたらく力」を身につけるために多様な学習や体験が保障された「学びのある」学校
- ・ 他を受け入れ、認め合う「共感する」学校
- ・ 保護者、地域と共に子どもを育てる「開かれた」学校

5 学校教育目標を具現化するための教職員像

- ・ 境川小学校の一員として強い使命感と責任感を備えた「協働する」教職員
- ・ 愛情に満ち、一人一人の子どもと「向き合う」教職員
- ・ ゆとりをもち自分を高めようと「学び続ける」教職員
- ・ 常に振り返り改善しようと「前進し続ける」教職員

6 本年度の努力点（学校経営の重点）

(1) 学習指導～確かな学力の育成～

◎日々の授業改善を推進する

- ・ 目標を明確にし、考える場、協働する場を意図した授業を実践する。
- ・ 個に応じた学び方を意図した授業を実践する。
- ・ 基礎学力の定着を図る。
- ・ ICT活用能力を高める。

◎子どもが主体的に学びに向かう授業を創造する

- ・ 興味関心だけでなく必要と考えるなかから課題を見つけたり選択したりする力を育成

する。

- ・ゴールへの見通しを持ち、解決方法を探して計画を立てる力を育成する。
- ・学んだことや情報を活用し、考え、判断し、表現する力を育成する。
- ・最後まであきらめずに考え、やり抜こうとする粘り強さを育成する。
- ・「まいがく」を活用した主体的な学びや家庭での学習習慣確立の支援をする。

◎他者の考えを受け入れ、すり合わせるにより高次な考えを導き出す授業を創造する

- ・人の話を最後まで聴く態度を養う。
- ・より良いものを導き出そうと粘り強く考える力を育成する。
- ・個人(グループ)の考えを自分ごととした言葉で表現する力を育成する。

(2) 生活指導～豊かなこころの育成～

◎全教育活動による道徳教育の充実

◎心理的に安心安全な居場所づくりに努める

- ・他者の考え・行動を受け入れる態度を養う
- ・他者が何を考えているのか想像する力を育成する。
- ・自分の行為の結果を想像する力を育成する。
- ・間違いや失敗を次にいかす態度を培う。
- ・他者を思いやる態度を養う。
- ・SC や SSW 等外部機関の活用により教育相談体制を確立する。
- ・「自分の命は自分で守る」ことを意図した防災・防犯訓練を充実する。

◎いじめの未然防止、早期発見・早期解決に向け迅速かつ組織的な対応を図る。

- ・境川小いじめ防止基本方針を常に見直し、改善する。
- ・全校児童を全教職員でみる。
- ・定期的、積極的に情報交換を行い、生徒指導主任やいじめ対策会議で迅速に対応する。
- ・情報モラル教育の浸透を図る。
- ・情報を途中経過であっても個人情報保護に抵触しない限り開示する。

◎集団でのマナー・エチケットの定着を図る。

- ・あいさつ、返事、言葉遣い、聴き方、あとしまつをする、時間を守る、を粘り強く指導する。
- ・他者が自分の行為をどのように思うのかを想像する力を育成する。

◎児童会活動・学級活動の充実

- ・児童主体の児童会活動・学級活動を仕組む。
- ・異学年交流の活性化を図る。
- ・「受け入れる」ことを土台とした全校での人間関係を構築する。

(3) 体づくり～健やかな体の育成～

◎健康・体力づくりの充実

- ・生活チェックカードの活用による家庭での基本的な生活習慣確立を支援する。
- ・一校一実践や体育授業を基盤とした運動することの楽しさ、習慣化への支援をする。
- ・学校生活全般にわたる健康教育、食教育の充実を図る。
- ・感染症予防対策を図る。

(4) 特別支援教育の充実

◎共生社会への意識改革

- ・校内支援委員会や情報交換による子ども理解の充実を図る。
- ・個の特性に応じた支援をする。
- ・共生社会の一員としての態度を培う。

(5) 自己実現を意識した人材の育成

◎広い視野の育成

- ・地域人材の活用を図る。
- ・ALT 活用による外国語教育の推進を図る。
- ・キャリア教育の推進を図る。
- ・外部講師の積極的な活用。

(6) 保護者・地域との連携

◎保護者・地域が主体者となり積極的にかかわろうとする意識づくり

- ・開かれた学校を目指した情報開示を積極的に行う。
- ・学校だより、学年だより等による情報の積極的発信に努める。
- ・授業や行事を積極的に公開する。
- ・迅速で誠意ある対応をする。
- ・俳句学習等を通し地域や地域人材の積極的な活用を図る。
- ・保幼小中との連携を図る。
- ・関係諸機関との連携を図る。
- ・学校評価をいかした学校改善を推進する。
- ・学校 PTA、地区 PTA 活動との連携を図る。